

津市消防団一志方面団新春訓練

1月11日(日)津リージョンプラザ(お城ホール)において、地域の安全安心を担う消防団員の士気を高揚するとともに、職務遂行への決意を新たにすることを目的とした津市消防出初式が開催されました。

そして同日午後、一志庁舎駐車場並びに一志農村環境改善センターにおいて、一志方面団新春訓練が開催され、通常点検・機械器具点検等が行われた後、三重県消防協会精勤章等の表彰・感謝状伝達式がありました。



田尻子ども会年末夜警

12月28日(日)29日(月)の2日間、田尻子ども会の子どもたちが、年末夜警を行いました。

地域の皆さんが、年末年始を安心して過ごすことができるよう、毎年この期間に防火啓発活動を行っています。

子どもたちは、拍子木を鳴らしながら田尻地内を歩き、寒さをこらえながらも「火の用心!!」と大きな声で、防火を呼びかけていました。



新春初笑い

1月18日(日) 一志農村環境改善センターにおいて、一志地区社会福祉協議会主催の「新春初笑い」が開催されました。

当日は約360名の来場者があり、ファミリー劇団「さむらい」さんのお芝居、そして昔懐かしいヒット曲の歌謡舞踏を鑑賞いただき、日本の心と家族愛に、会場は笑いと涙の渦に包まれてました。

また、続いて行われたお楽しみ抽選会も大盛況に終わり、来場された皆様は、楽しい一日を過ごれていました。



みんな元気で

福祉運動会

1月30日(日) 一志体育館において、一志地区福祉運動会が一志地区社会福祉協議会の主催で開催されました。

この運動会は、旧一志町時代から毎年開催されており、地域の交流と健康づくりを目的として行われ、当日は一志地域の各老人クラブと身障福祉会、母子寡婦福祉会、コスモス親の会から総勢258名が参加されました。

参加した皆さんは、様々な競技に心地よい汗を流し、フォークダンスを踊ったり、応援席で久しぶりの出会いに喜びを語り合ったりして、楽しい一日を過ごしました。

今年も、寛水流空手道の子どもたちによる演武披露があり、その雄姿に感心されていました。



津南警察署長より感謝状贈呈

一志地域青少年育成指導員パトロール

12月18日（木）津南警察署において、警察の業務に貢献した同署管内の3団体と9人に署長感謝状が贈られました。

一志地域では、青色回転灯でパトロールを実施するなど青少年健全育成活動に貢献されている「一志地域青少年育成指導員パトロール隊」が表彰されました。

長年代表をされている田中秋生さんは、「『地域の子どもは地域で育てる』を理念にこれからも活動を続けていきたい。」と思いを熱く語ってくださいました。

今後も、子どもたちの安全安心のため、ご活躍を心よりご期待申し上げます。



わくわく料理教室

1月28日（水）川合幼稚園、1月30日（金）高岡幼稚園において、園児たちを対象に一志町地産地消子どもの元気づくり協議会主催の「わくわく料理教室」がそれぞれ開催されました。

この料理教室は、一志でとれたお米と一志でとれた大豆からつくったお味噌を使って、各幼稚園児たちが、自分で五平もちをつくり、食べることにより「いのち」と「食」のつながりを感じてもらえる機会となっています。

当日園児たちは、協議会委員から「食」についての話を聞いた後、教わりながら炊き立ての一志米をすりこぎで潰し、小判型に丸め串に付けた五平もちをつくり、焼きあがり待ちきれない様子で眺めていました。そして、大きな声で「いただきます」と言って、口いっぱい頬張り、教室は笑顔で溢れていました。



人権週間

人権週間は、国連で世界人権宣言が採択された12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間と定められ、市においても期間中様々な啓発活動を行っています。

一志地域では、少しでも多くの方が人権に関して意識を高めていただくよう12月5日（金）近鉄川合高岡駅前において、地域の人権擁護委員や人権・同和教育研究協議会一志支部長が啓発物品を配布しました。

人権とは「人が生まれながらにもっている人間らしく生きる権利」であり、誰にも侵すことのできない永久の権利です。しかしながら私たちの周りでは、差別や偏見が依然として存在しています。一人ひとりが人権意識を高め、人権が尊重されるまちを一日も早く実現しましょう。



かわいっ子クラブ

12月4日（木）川合文化会館において、「かわいっ子低学年・高学年クラブ」が開催されました。

この日は、松阪市にある「みえこどもの城」の移動児童館の講師を招き、「カプラ」に取り組みました。

カプラはゆがみが少なく縦横自由に使える薄い板状の積み木で、講師から積み上げるコツなどを教えていただき、個人やグループで協力して積み上げ、高さ競争などを行ないました。

子どもたちは集中することにより、自然と作業を分担し協力して積み上げていました。また、高学年は最後に全員で長く壁状に積み上げる「ナイヤガラの滝」に挑戦し、歓声を上げながら、みんなで楽しんでいました。



1月15日（木）には、人権ビデオ学習を行い、低学年は、自分の気持ちを表現することの大切さを描いた「ワオくんのはね」と、名前に込められた思いから命や個性の大切さを学ぶ「名前…それは燃えるいのち」を、高学年は、実話をもとに差別の現実を描いた「未来への虹ーぼくのおじさんはハンセン病ー」と、多文化共生について考える「友達（アミーゴ）」をそれぞれ鑑賞し、感想をまとめました。

同じでしょ あなたと私 このいのち